

2008年10月16日

ご参考資料

Follow  
Up  
Memo

フォローアップメモ

## アイスランドの最近の状況について

nikko am  
fund academy

昨年夏から強まり始めた米国のサブプライムローン問題に端を発した信用収縮は、最近の米国の大手金融機関の倒産や合併につながっただけでなく、欧州の金融機関にも大きな影響を与え、アイスランドの銀行にもその影響が及びました。アイスランドの金融システムが不安定な状態となったことを主な背景として、アイスランドの通貨であるクローネは大きく下落しています。

## ①アイスランドの現在の状況

(株式)

14日、アイスランドの代表的な株価指数であるICEX15株価指数は前営業日比77%安となりました。10月9日に同国銀行最大手、カウプシング銀行が政府管理下に入り、金融商品取引所は13日まで取引が停止されていました。カウプシング銀行が政府管理下に入ったことで国内主要3銀行(カウプシング銀行、ランズバンキ銀行、グリトニル銀行)はすべて国有化されましたが、3銀行のICEX15株価指数に占める時価総額は約7割あり、3銀行が政府管理下に入ったことを嫌気してICEX15株価指数は大幅に下落しました。

(債券)

ハーデ首相は国債はデフォルト(債務不履行)させないと発言しており、実際にデフォルトは起こっていません。

主要3銀行発行の債券については、政府管理下に置かれたことで資産の保全措置が採られる可能性が高まっており、償還や利払いの期日に影響が出る可能性があります。

(為替)

アイスランドクローネの主要取引仲介者である3銀行が政府管理下にあり、国際的な資産の移動を制限されているため、為替取引の仲介を充分に行なえず、アイスランドクローネの流動性は極端に低下しています。

## ②政府・中央銀行の対策

- ・15日、アイスランド中央銀行は国内経済の急激な悪化に対応するため、政策金利を15.5%から12%へ引下げました。
- ・アイスランド政府はロシアから40億ユーロの緊急融資を受ける方向で協議しているほか、IMFなどにも支援を要請しています。支援を受けることにより外貨準備高を拡充し、中央銀行の信用力を高め、通貨の防衛を行なうと思われます。
- ・アイスランド政府は3銀行を管理下におき、経営形態やバランスシートの再構築を進めています。ランズバンキ銀行とグリトニル銀行については既にそれぞれ受け皿となる新銀行が設立され、カウプシング銀行にも近いうちに同様の措置がとられると思われます。これにより、①新銀行が第3者機関で適正評価された価格で前銀行の資産を買取ること、②前銀行の海外の貸出資金を回収すること、③海外拠点を売却し、国内業務に特化すること、などが予定されています。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### ③今後の見通しについて

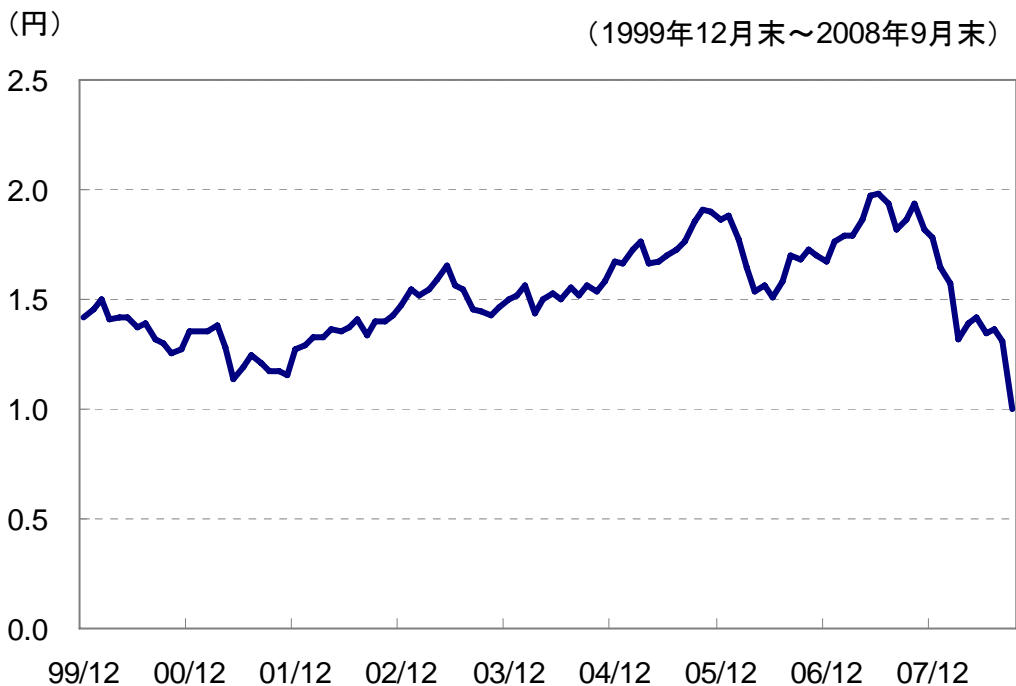
15日の政策金利の引下げは海外からの資金の取り込みと国内の景気のバランスを配慮しての決定と考えられます。

現在、市場は混乱状態にありますが、これはアイスランドの金融システムに対する不安が主な要因と考えられます。銀行システムの再構築には数週間かかると予想されますが、この再構築により、今後徐々に信頼の回復が始まり、為替市場の流動性回復と安定化が期待されるものと考えています。

アイスランドのファンダメンタルズは公的債務残高のGDP比率がOECD加盟国の中でも低い水準であることや地熱などコストの低い資源活用の可能性が高いことから中長期的に堅調であると思われる。

今後もアイスランドの対策の効果や世界的な信用収縮の解消に向けた各国の取り組みなどを注視していく必要があると考えられます。

### 【アイスランドクローネ(対円)の推移】



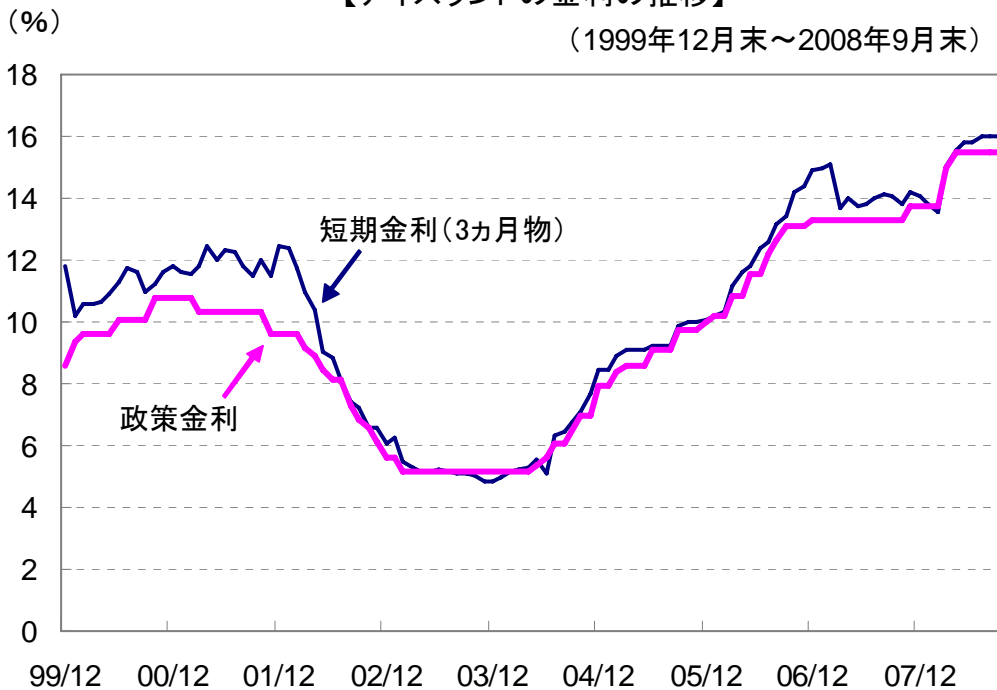
- 上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 【アイスランドの金利の推移】

(1999年12月末～2008年9月末)



- 上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

nikko am  
fund academy日興AM  
ファンドアカデミー  
とは？

投資信託を「つくる」会社、日興アセットマネジメントが2008年にスタートした、投資教育のプラットフォーム。  
「すべての投資信託に共通する大切なこと」をテーマに、より深い理解と納得のもと購入していただくための活動を展開しています。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。